



登米市民病院 だより

令和3年12月 第28号

編集・発行 / 事務局

TEL 0220-44-4795

FAX 0220-22-0345

E-mail iryoshimin-kanri

@city.tome.miyagi.jp

郷土の味を 病院食で提供

2021.10.26

10月26日(火)、登米市と気仙沼市が舞台になった朝の連続テレビドラマにちなんで、登米市民病院と気仙沼市立病院にて、地域になじみのある郷土食が提供されました。今回は2度目の提供となり、企画に賛同された宮城県立がんセンターと栗原中央病院でも、地域性を活かしたメニューが提供されました。

この企画に至った経緯はコロナ禍で面会が難しい状況の中、少しでも患者さんに楽しい時間を過ごしていただきたいという願いと、地元や宮城を盛り上げていきたいという思いで企画し、委託業者の日清医療食品様の協力のもとで実現しました。

固い食事が取れない方には、メカジキの野菜あんかけが提供されました。

また売店を運営している株式会社みやぎ東和開発公社様でも、この日は特別な日替わり弁当を販売していただきました。



メカジキの野菜あんかけ



今回の病院食提供に携わった
当院栄養管理室職員



限定の日替わり弁当



企画にご尽力いただいた
日清医療食品の職員さん



梨

ねばねば
サラダ

油麩井

2021年8月
登米市民病院
日清医療食品(株)

しそ巻き

前回(2021年8月
24日)のメニュー

はっと汁

患者さんからは、「いつもおいしいから感
心しながら食べています。」

「はっと好きなんだよ。」

「カジキおいしかった。先に全部食べちゃっ
た。」等の感想があり好評でした。

医師臨床研修1名マッチング

令和3年10月28日、医師臨床研修マッチング協議会の運営する令和3年度医師臨床研修マッチングにて、登米市民病院の臨床研修プログラムに1名マッチングしました。今回は、当院が基幹型臨床研修指定病院として指定されるまでの経緯とマッチング制度についてご紹介します。

経緯

当院は、平成16年3月から、協力型臨床研修病院に指定されていました。

協力型臨床研修病院として、他の基幹型臨床研修病院の研修医を受入れ、短期間の研修を実施していましたが、自院でプログラムを作成し研修医を募集することはできませんでした。

そこで当院の慢性的な医師不足解消のため、基幹型臨床研修病院の指定を目指し、協力型病院として研修医受入れの実績を積み重ね、令和3年2月に指定を受けることができました。

さらに、基幹型臨床研修病院が研修医を受け入れるためには、医師臨床研修マッチング（右記）に参加して、マッチングの結果により、研修希望者と契約を結ぶ権利を得られます。

なお正式な採用となるのは、研修希望者の医学部卒業と医師国家試験の合格を経てからになります。

医師臨床研修とは

以前の臨床研修制度では、研修医の7割が大学病院で研修をし、一つの診療科で研修を受ける研修医が4割ほどで、幅広い診療能力が身に付けられる総合診療方式による研修を受けている研修医は多くありませんでした。また、地域医療との接点が少なく、研修内容や研修成果の評価も十分に行われていませんでした。

そこで平成16年から、診療に従事する医師は、2年以上の臨床研修が必修化されました。

医師臨床研修マッチングとは

研修希望者が研修したい病院に順位をつけて登録し、研修を行う病院も採用したい研修希望者に順位をつけて登録します。その後、一定の規則に従ってコンピュータにより組み合わせを決定する仕組みのことを指します。

泌尿器科からのお知らせ

中島医師の**休診**により、12月より下記の曜日で診療を行います。

曜日	診察時間	担当医師名
火曜日	午前のみ	佐藤貞幹医師
水曜日	午後のみ	JCHO仙台病院医師
木曜日	第1、第3(午前・午後)	東北医科薬科大学病院医師
金曜日	第2、第4(午前・午後)	秋田大学病院医師